

# SensAmone P5

Immediate comfort for sensitive skin

● 全成分表示名称 ●

ペントペプチド-59, 水添レシチン, シア脂, フェニ  
チルアルコール, エチルヘキシルグリセリン, マルト  
デキストリン, 水

Venom テクノロジーを応用したカプセル化ペプチド

訴求点

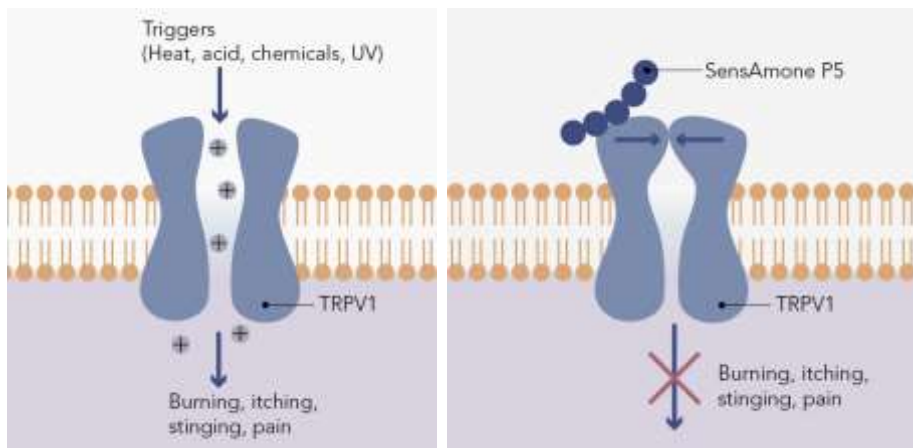
- ・肌の過剰反応を緩和
- ・ストレスや外的刺激に対する肌の応答を最小化  
(TRPV1 チャンネルのブロック)
- ・敏感肌のかゆみを抑える

応用

- ・敏感肌ケア
- ・Neurocosmetics (ニューロコスメティクス)
- ・処方や他の有効成分の刺激を抑えて快適な処方へ

## 敏感肌

- ・敏感肌はよく見られる炎症のサインや不快感によって特定される
- ・日常的な刺激への過剰な反応
- ・敏感肌は締め付けやかゆみ、熱さや痛みを感じ得る
- ・主な原因：感覚的な応答が非常に強い



## TRPV1

TRPV1 (バニロイド受容体 1 とも呼ばれる) は熱や痛みの受容体 TRPV1 はカプサイシンや熱、低 pH といった様々な刺激によって活性化される

イオンを細胞内へ流入させる膜透過チャネルを広げることで応答する

→シグナル経路の活性化が熱さ、かゆみ、痛みにつながる

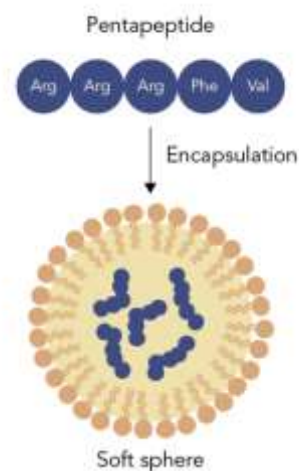
## Sea Anemone *Heteractis crispa*

*Heteractis crispa* は熱帯水域と亜熱帯水域に存在するイソギンチャク

- ・イソギンチャク毒の TRPV1 阻害能を化粧品へ応用させるためペプチドを開発
- ・毒を医薬品へ変えることを専門とする UK の会社 Venomtech 社と協力毒タンパク APHC1 の TRPV1 結合部位を含む 5 つのアミノ酸から構成されるペプチド

更にこのペプチドを下記の目的のためにシアバターをベースとした soft sphere のキャリアーシステムに組み込んだ:

- ・肌への浸透を向上させる
- ・肌細胞による取り込みを向上させる
- ・ Controlled-release デリバリーを可能に
- ・処方中での分解からペプチドを保護



SensAmone P5 はイソギンチャクタンパクと同様に TRPV1 受容体に結合することが可能で細胞内へのイオン流入をブロック → 受容体の反応性が減少 → 痛みやかゆみの知覚や肌の不快感を正常化

## In vitro data & In vivo data あり

- ・CHO 細胞でのカプサイシンによる刺激時の TRPV1 阻害効果→SensAmone P5 は TRPV1 受容体活性を 80% 阻害し、全長タンパクよりも効果的であった。
- ・2%配合クリーム単回塗布後の電流知覚閾値 (CPT value) →SensAmone P5 は単回塗布から 2 時間後に肌の反応性を著しく減少させる
- ・2%配合クリームを 1 日 2 回 28 日間塗布した後の乳酸によるスティンギングテスト→SensAmone P5 は 28 日後に 26% 以上肌の感度を抑制した。